VMware(VM)利用時に、mountすると「wrong fs type, bad option, bad superblock on…」が表示される

HDDイメージが壊れている可能性も否めないが、VMware(を含む仮想基盤)では、DIskイメージをコピーして検証/調査したり、Masterイメージを作成してOSを構築を容易にする事も多い。

他のHDDイメージをmountすると「wrong fs type, bad option, bad superblock on…」と出て、ヒヤッとするが、まずは、/var/log/messages を見て欲しい。

```
Filesystem has duplicate UUID 12345678-1234-1234-1234-123456789012 - can't mount
```

と表示されていないだろうか

HDDイメージを流用すると、一意であるべきUUIDが重複してしまい、mount失敗を起こす。
仮想基盤ならではの、「あるある」だと思う。
対象方法は２つ

１．一時的にマウント
　マウント時にUUIDの重複を無視するオプション(-o nouuid)を渡します。

```
# mount -t xfs -o nouuid /dev/sdb1 /mnt
```

２．永続的に使う場合は、UUIDを変更する
　Formatが xfsなら
　# xfsadmin -U generate /dev/sdb1
　→ ext4とかは未調査

添付ファイル::

一意的なソリューション ID: #1005
製作者: n/a
最終更新: 2026-05-05 06:45

© 2026 netstaff <netstaff@chovits.net> | 2026-11-22 23:45
URL: https://www.chovits.jp/phpmyfaq/content/0cat=1/6/ja/vmwarevm利用時に、mountすると「wrong-fs-type-bad-option-bad-superblock-on…」が表示される.html